

2026年度 第1回理事会 議事録

- 日時:2026年5月30日(土)13:00～ 場所:宮本公民館講堂 出席者:理事・役員
- 配布資料:
 1. 第1回理事会レジメ
 2. 2026年度所属部別理事一覧・顧問・ルームアドバイザー
 3. 組織役割分担図
 4. 会員数状況(会費入金状況)
 5. 事業活動計画
 6. 会報 第115号
 7. 2026年度 年間スケジュール
 8. 芸能大会出演者募集
 9. 今後の講演会が目指すべき方法性
 10. その他(当日配付レジメ等)

I. 開会および新任理事の紹介

1. 開会宣言
 - 定足数の確認および開会が宣せられた。
2. 新任理事の紹介および委嘱状授与
 - 2026年1月より新たに理事に加わった2名が紹介された。
 - 長澤会長より委嘱状が授与され、新任理事2名より着任の挨拶が行われた。
3. 配布資料の確認
 - 事務局より、上記「配布資料」に記載された各種資料の確認が行われた。

II. 会長挨拶:新体制の運営方針

長澤新会長より、新体制における運営方針および以下の重要施策が示された。

1. 組織の活性化と魅力向上
 - 会員数およびクラス会の減少という現在直面している課題に対し、「活動を縮小・緊縮するのではなく、より魅力的な活動を増やすことで会員増加に繋げる」という攻めの姿勢が示された。
2. 「運営委員会」への移行
 - 従来の「執行部」という名称を、より多くのメンバーが主体的に参加しやすい、オープンな組織を象徴する「運営委員会」へと名称変更し、風通しの良い運営を目指す。
3. 新規・活性化企画の推進と情報発信
 - 歌声同好会・和音:常時30名が参加する好調な状況。
 - JAXAバス旅行:HPで募集後すぐに定員に達するなど、新しい企画への期待の高さが実証された。
 - 広報の強化:HPの頻繁な更新を行い、これら新規・継続活動の情報をタイムリーに発信する。

III. 各部報告および連絡事項

各部長より、担当業務の進捗状況および今後の予定について報告が行われた。

1. 広報部
 - 会報115号の発行:無事発行を完了。
 - コスト削減施策:郵送費が増大している。複数のクラス会・同好会で会報を重複して受け取ることをなく、配布名簿に基づく精査を徹底している。

2. 文化部

- 芸能大会の募集開始:夏休み期間等を考慮し、募集スケジュールを「7月まで」に設定して推進することを確認した。

3. 健康スポーツ部

- 実施済み事業:ディスクゴルフ、ペタンク、パークゴルフ大会の各事業は終了。
- 今後の事業予定:
 - 6月10日:グラウンドゴルフ
 - 6月27日:ボッチャ大会
- 体育祭:
 - 開催日:10月30日(金)に決定。
 - 第2回実行委員会を6月30日に開催予定。

4. 文化講演会(企画部会)

- 前回のディスカッション結果を踏まえ、以下の新方針および新企画案が報告された。
- ターゲット像(4つの願い):
 1. 「人と繋がりたい」
 2. 「不安解消」
 3. 「船橋を知りたい」
 4. 「主役になりたい」
- アプローチ(3つの柱):
 1. 「学びと遊びの融合(エデュテインメント)」
 2. 「ちょっとだけ参加(心理的ハードルの低下)」
 3. 「地元の宝(同窓生)の活用」
- 新企画案(4つのシリーズ提案):
 - ヘルスケアシリーズ:落語、体操など
 - 船橋再発見シリーズ:大人の遠足など
 - 生き生き祭シリーズ:特技披露など
 - 安心相談シリーズ:スマホ活用、終活など

IV.【議題1】組織の役割分担と基本方針

1. 3つの事業柱への再整理

組織の全活動を機能別に「実務」「活動」「PR連携」の3つの柱に再定義した。

- 実務:総務、会計、広報
- 活動:健康スポーツ、文化、同好会
- PR連携:
 - ルームアドバイザー(RA)との緊密な協力体制の構築。
 - 行政(高齢者福祉課、社会教育課等)との連携推進。
 - 新規加入を促すための「ガイドブック」の作成。

2. 同好会推進の強化

- 同好会の活性化を一部の担当部署のみに任せるのではなく、運営委員会および理事会全体で支援する。
- 新しいコミュニティ作りの土台として、組織一丸となってバックアップしていく方針が合意された。

V.【議題2】会計報告と会員状況の分析

1. 会員数の推移と現況

- 2021年度の986名から減少傾向が続いており、今年度の目標「610名」に対し、現在の登録数は576名。
- ※ただし、理事会当日の入金分を合算すると、実質的には600名超を確保していることが報告された。

2. 新規会員の内訳

- 現在登録の576名のうち、継続会員は**509**名、新規入会者は**67**名。
- 新規入会者のうち、市民大学校22期卒業生は**44**名を占めている。

3. 会員資格の柔軟化に関する議論

- 作品展や特定の大会に限定して参加を希望する層を対象に、「賛助会員」として柔軟に受け入れる方針を確認した。
- 単に「同窓会への入会(入会金の支払い)」を求めるだけでなく、「個々のイベントへの参加意義」を重視し、門戸を広く開放することで組織の維持・拡大を図る。

VI.【議題3】2026年度 事業活動計画(承認事項)

本計画案が審議され、全会一致で承認された。主な内容は以下の通り。

1. 主要スケジュール

- 理事会開催(年**6**回):
 - 開催月:5月、6月、9月、12月、1月、3月
 - ※連絡漏れや情報伝達の遅れを防ぐため、新たに「9月」の理事会を追加設置した。
- RA(ルームアドバイザー)懇談会:**6月24日**に開催予定。

2. デジタル化推進委員会

- 隔月委員会を開催し、ホームページ(HP)の活性化と安定運営を進める。

3. コストカットの徹底

- 郵送費が印刷費を上回っている現状を課題視。
- HPでの代替共有や、同好会等における「手渡し配布」を強化し、郵便経費の大幅削減を推進する。

VII. その他・閉会

1. 市民大学校(いきいき学部)の現況報告

- 2026年度の入学者数は**276**名(前年度268名)と微増。
- 募集時点では、すべての学科において定員を超える応募があり、将来的な同窓会会員候補の確保に向けて、明るい兆しがあることが報告された。

2. 閉会および部会ミーティングの実施

- 全体会議終了後、各部に分かれてミーティングを実施。部長・副部長の選任および今年度の具体的な活動スケジュールについて詳細な打ち合わせが行われた。